

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 6月 30日

【評価実施概要】

事業所番号	0170401806		
法人名	株式会社 ウェルネスヒューマンケア		
事業所名	グループホーム ウェルネスこすもす		
所在地	札幌市手稲区新発寒6条9丁目4-3 (電話) 011-691-3411		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年6月26日	評価確定日	平成21年7月24日

【情報提供票より】 (平成21年 5月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年 3月 27日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	14人, 非常勤 人, 常勤換算 14人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	光熱費18,000 円 暖房費(11~3月)8,000円
敷金	有 (90,000 円) ・ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要 (6月 20日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	6 名	要介護2	4 名		
要介護3	7 名	要介護4	0 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 77 歳	最低	74 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	洞田内科クリニック、さくら歯科クリニック
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、利用者と職員の笑顔と親しみのある会話で明るい雰囲気になっており、職員が作成している利用者毎の詳細なお便りが、家族に安心感を与えています。建物は、自然木を使用したログハウス風のデザインですが、閑静な住宅街の中に溶け込んで調和しており、内部の共有スペースや居室の随所に木調の壁があり、暖かみのある生活空間を提供しています。ケアプランは、利用者の日常状態を観察しながら、きめ細かく検討しており、幼稚園児の訪問や各種行事への参加などもあって、利用者は安心して楽しくゆったりと過ごしています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	理念に地域との関わりを追加、職員の人材育成は年間計画を作成、運営推進会議を通しての避難訓練への地域協力依頼など前回評価の課題について積極的に改善に向けて取り組んでいます。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、数項目毎に分けて日数をかけながら、職員全員と話し合いをして作成しています。課題となる事項は全員で検討して改善策を考え、ホーム運営に活かすよう努めています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、町内会や包括支援センター関係者をメンバーとして定期的に開催し、ホームの状況報告や災害対策などへの協力要請等と意見交換が行なわれています。会議における意見等はホームのミーティングで検討し、運営に反映させるように努めています。参加メンバーがやや少ないため、教育関係者等を含めたメンバー増員が今後の課題となっています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	当ホームは、職員の努力もあって家族の訪問回数も多く、その際に家族からの意見や苦情を把握するようにしています。家族からの要望等は管理者が中心となってミーティングで十分に討議し、改善可能な内容は早急に取り組むなど、ホーム運営に反映させています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域との交流にホームは重点的に取り組んでいます。町内会のお祭りなどの行事や保育園の餅つきなど、職員と利用者が積極的に参加しています。ホーム行事である会館の運動会へは地域住民も参加しており、ホームへもボランティアや幼稚園児のお遊戯慰問などがあり、利用者はこれらを毎回楽しみにしています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	前回外部評価の改善課題については、ホームの理念に地域との関わりを大事にする主旨を追加し、地域住民との関係を大事にする取り組みを行っています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	新人研修やミーティングにおいて、理念に基づくサービスのあり方等を話し合っています。家族へも理念の変更をお知らせしており、職員全員の共有となるよう努めています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームは、町内会や保育園等の行事へ参加し、会館を会場とするホーム運動会へも地域の協力をいただいています。また、各種ボランティアや幼稚園児のお遊戯など、ホームへの訪問もあり、地元住民との積極的な交流があります。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者や職員は評価の意義を理解しており、自己評価は、項目を分けながら時間をかけて全員で検討して作成しています。評価結果の課題はミーティングで話し合いながら改善に取り組んでいます。		

札幌市手稲区 グループホーム ウェルネスこすもす

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、町内会や包括支援センターの協力をいただきながら、定期的に開催しています。会議では報告事項の他に防災訓練への協力要請など意見交換を行い、利用者のサービスに反映させるよう努めています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者会議などを通じて行政関係者との連携がありますが、行政担当部署へもホーム運営上の相談など必要に応じて訪問しています。	○	行政担当部署への訪問がやや少ないので、できるだけ接触の機会を増やし、ホームの状況報告と関連情報の収集や運営上の相談など、行政との積極的な連携を期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	職員の努力により家族の訪問回数が増えており、その際に利用者の暮らしぶりを丁寧に伝えています。また、毎月発行のホーム便りと担当職員による利用者一人ひとりの詳細な便りが送られ、家族から感謝されています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームは苦情処理体制を整えていますが、職員は家族来訪時に意見や要望を把握するように努めています。要望等がある時は、随時ミーティングで検討しながら改善に取り組んでいます。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の1階、2階ユニット間異動は最小限にとどめていますが、異動がある時でも両ユニットの交流があり問題はありません。離職があった場合は、事前に職員が穏やかに話をして不安感を与えないよう努力しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の人材育成は、毎月の内部研修の他に年間計画をたてながら外部研修へ派遣しています。研修結果は、復命書と内部研修での報告を行い職員全員の共有となっています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者会議等を通じて同業者との情報交換を行っており、ディサービスとの交流もありますが、他ホームとの交流は今後の課題として検討中です。	○	他ホームの運営状況を把握することは、職員にとって利用者へのサービス提供等に大きく役に立ちます。今後、他ホームと協議をしながら、相互訪問等の交流が行われることを期待します。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	新規の利用希望者には、事前に家族と入念な打ち合わせと利用者にもホームを訪れていただき、お茶を共にしながら雰囲気馴染めるよう配慮しています。入居当初は、家族にホームへ頻繁に来訪していただき、利用者の不安感をなくすようにしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者が人生の先輩であることを理解し、料理、裁縫、菜園など教えていただいたり、共に作業をしながら一緒に過ごし、支え合う暖かい関係を大事にしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は、アセスメントや情報交換を密にしながら、利用者の思いを把握するよう努めています。把握が困難な時は、利用者の表情や行動から意向を汲み取るようにしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の介護計画は、家族と医療機関から収集した情報を基に職員が協議しながら、利用者本位を基本としてセンター方式により作成しています。作成した介護計画は、家族へも分かりやすく説明し、同意をいただいています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは、入居当初の暫定1ヵ月計画と3ヵ月毎の定期見直しを行っています。さらに定期見直しとは別に1ヵ月毎に職員全員で計画の内容をチェックするなど、きめ細かい介護計画の修正に努めています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームの車両を利用して、病院への受診や外食・花見など外出支援をしています。また、ボランティアや幼稚園児による慰問を積極的に受け入れ、利用者に喜ばれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関のうち、内科は月2回、歯科は週1回の往診がありますが、利用者の希望があれば、他の医療機関受診も自由です。受診の外出は原則家族対応ですが、状況に応じて職員が付き添っています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の重度化や終末期の対応は、契約時に家族へ説明し了解をいただいています。ホームとしては、重度化や終末期の利用者は医療機関への移行を方針としており、指針については検討段階であり、まだ作成されていません。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	家族の面会簿や利用者の介護計画など各種記録は、個人情報の取り扱いに注意しながら、適正に管理されています。職員の利用者への言葉かけなどもプライバシーを損ねないように配慮しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々のケアサービスにおいて、ホームのスケジュールや職員の都合を優先することなく、利用者の意向を大事にしながら支援を行っています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事準備や後片付けを利用者と職員が一緒に行い、食事中は同じ食事を取りながら話し合い、楽しく過ごしています。食事メニュー担当職員は、利用者の好みを把握しながら作成して、食事への希望をメニューへ反映するよう努めています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週2～3回、午後の時間帯に実施していますが、無理強いをすることなく利用者の体調や希望も配慮しながら支援しています。また利用者の状況に応じてシャワーによる対応も行っています。		
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の一人ひとりの趣味や楽しみごと、役割りをケアプランに取り入れながら支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候不順時以外は午前中に散歩をしており、利用者の希望を聞きながら外出する機会も設けています。また、年間行事計画に基づき、ホーム車で花見や食事会など遠出をして、利用者から喜ばれています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	正面玄関及びユニット入口共に日中は施錠していません。入口にセンサーは有りませんが、職員が常に利用者の出入りを見守り、単独外出がないよう注意しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホームは年に2回、自主訓練と消防署の指導による訓練を実施しています。運営推進会議では、災害時に地域住民の協力をいただけるよう要請しています。	○	避難訓練や救命救急訓練を定期的に行っていますが、今後の課題として夜間想定訓練の実施と地域住民の参加があります。周辺住民の方々へ協力を求めながら、これら訓練の実施を期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事メニューは、職員が利用者の好みを把握しながら作成して、食材を発注しています。食事内容のカロリーは、定期的に食材会社の栄養士に計算を依頼して参考にしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームは自然木を使用したログハウス風の建物で、共有スペースの壁面を含めて木調の壁面が親しみと暖かみを感じさせます。内部も洗面所、浴室、トイレ、居間兼食堂のそれぞれがゆったりと住みやすい構造で、利用者は居心地良く過ごしています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	余裕のある広さの居室には、スペース十分なクローゼットと壁面に棚が設置され、整理しやすく工夫されています。利用者はそれぞれの好みの調度品等を持ち込み、ゆったりと暮らしています。		

※ は、重点項目。